

入退室管理システム（虹彩認証）

虹彩認証事例 不動産業

導入前の課題

- ・ 既設の虹彩認証システムが故障し後継機を探していたが、既設メーカーは虹彩認証機器が終売となったため別メーカーで対応できる業者を探していた
- ・ 既存システムの後継機種が無く別のシステムを探していた
- ・ 機器入替の費用は極力抑えたい

導入後の効果

- ・ 虹彩認証から虹彩認証の入替のため運用も変わらず、利用者の抵抗もなく受け入れてもらうことができた
- ・ 物理キーを必要としないため、手ぶらでの認証を実現
- ・ 前機種よりも認証スピードが速く、音声ガイドもあるためスムーズな入退室が可能になった

詳細

導入ソリューション

入退室管理システム（虹彩認証）

業種/価格

不動産業/約130万

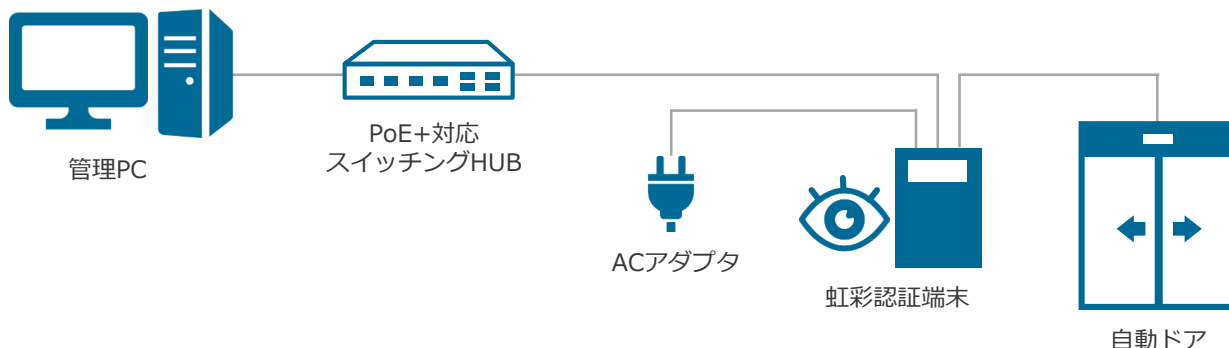
作業内容

- ・ 既存配線を利用し、扉横に虹彩認証端末を設置
- ・ 既存機器撤去作業
- ・ 機器取付・配線工事・設定作業
- ・ 登録支援作業（虹彩認証登録日を設け、利用者の方へご案内しながら1人ずつ登録対応）

作業時間

工事：1日（9：00～12：00）
利用者への説明・登録：2日間

規模

対象扉数：自動扉1扉 ※入室のみ
登録対象人数：100名程度

入退室管理システム（虹彩認証）

虹彩認証事例 製薬業

導入前の課題

- ・紙のタイムカードで運用している入退室記録を電子化したい
- ・外部からの持ち込み物を最小とするため、ICカード認証以外の方式がよい
- ・クリーンルーム用衣服（化学防護服・手袋・帽子・ゴーグル）を着用する環境の為、生体認証出来る部位が少ない
- ・手袋を外すこと自体がそのエリアでのリスクとなるため、指静脈認証は避けたい
- ・目元しか映らないため、顔認証では本当に本人が認証しているかどうかの判断が難しい

導入後の効果

- ・虹彩認証を用いた入退室管理システムを導入したことで入退室の記録を電子化できた
- ・物理キーを用いず本人の虹彩で認証が可能のため、持ち物を増やすことなく入退室管理が可能になった
- ・非接触認証のためクリーンルーム環境でも清潔を保ったまま入退室管理が行えるようになった
- ・虹彩認証を採用することにより目元しか映らない状態、かつゴーグル着用時でも確実な本人認証が可能となった

詳細

導入ソリューション

入退室管理システム（虹彩認証）

業種/価格

製薬業/約500万

作業時間

4日間

規模

2扉入室管理+1扉入退室管理
登録対象人数：50名程度

作業内容

- ・建屋天井裏設備スペースでの配線工事
- ・既存分電盤からの電源工事
- ・既設扉への電気錠取付、扉加工工事
- ・虹彩認証端末の取付

